



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月15日

上場会社名 バリュースクリエーション株式会社 上場取引所 東
コード番号 9238 URL http://value-creation.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 晃人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 和田 晃一 TEL 03 (5468) 6877
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の業績 (2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	2,171	—	165	—	148	—	93	—
2023年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	92.83	82.57
2023年2月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2023年2月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年2月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 2023年8月25日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 2023年11月22日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場したため、2024年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年2月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	3,461	—	414	—	12.0	—
2023年2月期	3,290	—	147	—	4.5	—

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 414百万円 2023年2月期 147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,027	7.2	163	44.5	148	22.2	95	10.5	90.87

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
2. 当社は、2023年8月25日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益については、上場に伴う公募増資株式数（105,000株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（45,400株）を含めた期中平均発行株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	1,105,000株	2023年2月期	1,000,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	－株	2023年2月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	1,011,666株	2023年2月期3Q	－株

(注) 1. 2023年2月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年2月期第3四半期の期中平均株式数は記載していません。

2. 2023年8月25日付で、普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」及び「期末自己株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の主たる事業領域である国内インターネット広告市場は、前年比104.4%の市場規模となっています。(出典：株式会社電通「2022年 日本の広告費」)

このような環境のもと、当第3四半期累計期間において当社では、主力事業であるマーケティングDX事業を中心に提供サービスの品質向上に取り組むとともに、顧客ニーズに合致した最適なサービス提案を可能とする営業体制を整備し、新規顧客の獲得とともに提供サービスのクロスセルやアップセルの促進による既存顧客との取引拡大に注力してまいりました。顧客の継続率は約97%となり目標とする水準を維持できております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,171,368千円、営業利益165,622千円、経常利益148,867千円、四半期純利益93,915千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<マーケティングDX事業>

マーケティングDX事業は、運用型広告を中心とするプロモーション手法を通じ、広告効果向上のための課題抽出、広告の運用までを一貫して実施しております。既存顧客からの受注増及び新規顧客の獲得もあり堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,086,648千円、セグメント利益は461,630千円となりました。

<不動産DX事業>

不動産DX事業は、DXで解体業界に新たな価値を届けるべく「解体の窓口」を運営しております。ユーザー申込累計件数が20,000件を突破し、認知度が高まっている状況です。一方で顧客獲得のための先行投資費用が増加しております。

この結果、売上高は84,719千円、セグメント損失は13,065千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は3,461,398千円となり、前事業年度末に比べ170,530千円増加いたしました。これは主として、売掛金が198,591千円減少し、現金及び預金が347,382千円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は3,047,276千円となり、前事業年度末に比べ96,298千円減少いたしました。これは主として、未払金が108,465千円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は414,121千円となり、前事業年度末に比べ266,829千円増加いたしました。これは東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資による資本金の増加86,457千円及び資本準備金の増加86,457千円、四半期純利益によって利益剰余金が93,915千円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期においては、マーケティングDXの需要は継続して堅調に推移し、事業環境において足元にも大きな変化はないと見ております。2024年2月期第3四半期において通期の予想利益に近い数値で着地をしていますが、第4四半期において広告費の計上を予定しており、業績予想の修正を行っておりません。

以上を踏まえ2024年2月期の業績予想といたしまして、売上高3,027百万円、営業利益163百万円、経常利益148百万円、当期純利益95百万円を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	833,150	1,180,533
売掛金	2,362,062	2,163,471
前渡金	30,318	36,731
前払費用	13,837	44,447
その他	19,268	1,046
貸倒引当金	△8,999	△3,107
流動資産合計	3,249,638	3,423,123
固定資産		
有形固定資産	16,326	15,334
投資その他の資産	24,903	22,941
固定資産合計	41,229	38,275
資産合計	3,290,867	3,461,398
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,736,144	1,750,840
短期借入金	120,838	100,000
1年内返済予定の長期借入金	226,828	254,230
未払金	443,268	334,803
未払費用	53,767	65,148
未払法人税等	27,807	44,425
契約負債	8,705	20,291
預り金	9,748	8,672
その他	46,300	34,965
流動負債合計	2,673,408	2,613,377
固定負債		
長期借入金	470,167	433,899
固定負債合計	470,167	433,899
負債合計	3,143,575	3,047,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,000	120,457
資本剰余金	—	86,457
利益剰余金	113,292	207,207
株主資本合計	147,292	414,121
純資産合計	147,292	414,121
負債純資産合計	3,290,867	3,461,398

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	2,171,368
売上原価	1,413,129
売上総利益	758,239
販売費及び一般管理費	592,616
営業利益	165,622
営業外収益	
還付金収入	2,477
その他	332
営業外収益合計	2,809
営業外費用	
支払利息	8,111
上場関連費用	11,236
その他	217
営業外費用合計	19,564
経常利益	148,867
税引前四半期純利益	148,867
法人税、住民税及び事業税	56,483
法人税等調整額	△1,530
法人税等合計	54,952
四半期純利益	93,915

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月22日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり2023年11月21日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式105,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ86,457千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金が120,457千円、資本剰余金が86,457千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	マーケティングDX事業	不動産DX事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
一定期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
セグメント利益又は損失(△)	461,630	△13,065	448,565	△282,942	165,622

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△282,942千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（第三者割当による新株式の発行）

当社は、2023年11月22日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この株式上場にあたり、2023年10月19日及び2023年11月2日開催の取締役会において、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行について決議し、2023年12月20日に払込が完了いたしました。

（1）募集方法	第三者割当（オーバーアロットメントによる売出し）
（2）発行する株式の種類及び数	普通株式45,400株
（3）割当価格	1株につき1,646.80円
（4）資本組入額	1株につき823.40円
（5）割当価格の総額	74,764千円
（6）資本組入額の総額	37,382千円
（7）払込期日	2023年12月20日
（8）割当先	株式会社SBI証券
（9）資金の使途	設備資金、借入金返済、採用費及び人件費